

令和3年度
川合小学校
校長室だより

校訓：強い子 明るい子 考える子
～子供たちの未来と笑顔のために～

川合の子

第6号
6月30日

授業公開日 ～6月16日～

今年度2回目となる授業公開日でした。今回も感染予防対策へのご理解とご協力をいただきながら、たくさんの保護者の皆様にお越しいただきました。そして、子どもたちはとても張り切って勉強に励んでいました。



1年生：図工 ひらひらゆれて



2年生：図工 ひらひらゆれて



3年生：算数 暗算



4年生：音楽 日本の音楽を聴こう



5年生：家庭科 ひと針に心をこめて



6年生：外国語 Let's go to Italy.

水泳学習 がんばっています！



※水着のため、写真を加工しています

栽培活動が盛んです！

各学年で栽培活動が盛んです。2年生はコーディネーターの坂田さんと一緒にジャガイモの収穫を、3年生は和田さんに教わりながらエゴマの植え替えを行いました。この他にも低学年はひまわり、3年生はホウセンカ、4年生はヘチマ、5年生はバケツ稲などを大切に育てています。



3・4年生の見学について行きました!

3年生・4年生が社会科学見学（3年生：お店見学、4年生：ゴミ処理場）へ出かけ、私もついて行かせてもらいました。そして、とても感心して帰りました。両学年とも、外部の方への挨拶や返事がきちんとできていました。説明や話を静かに聞くことができていました。聞きながらメモをとることもできていました。お金や重さに関する数字がたくさん出てきましたが、一生懸命計算をして、日頃の算数の力を使おうとしていました。臨機応変に質問したり、苦労しながらも町の人へのインタビューを成功させたりしていました。教室の学びを外で存分に発揮している姿、発揮しようとしている姿を、頼もしく思いました。



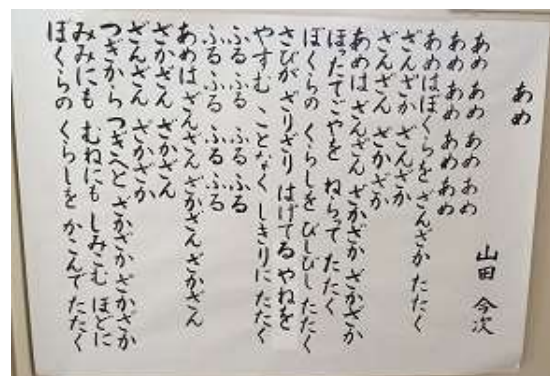
【校長コラム】～学力の両輪～ <今月の詩>

本校では、子ども達が毎月、その月の詩を暗唱しています。これも、学力の両輪を育む上での大切な活動と捉えています。（保護者の方にも聞いていただいています。ご協力、本当にありがとうございます。）



詩の取組がどうして大切かを、いつか私も本稿で書こうと思っていたのですが、私を書くまでもなく、子ども自らが書いてくれたので紹介します。

覚える力が付く今月の詩
川合小学校では 毎月校長先生が詩を出して ぼくたちがその詩を覚えます
五月の詩は われは草なりでした
一年生のみのりさんに聞きました みのりさんは
みどりのふかきむずかしかったですと言っていました
ぼくは ああ生きる日のうつくしきというさいころ
のところがむずかしかったです
今月の詩は覚える力が付くから がんばりましょう
柳井 鳳臥



↑ 6月の詩「あめ」 リフレイン
(繰り返し) やオノマトペ (擬音) が多く、覚えるのが難しいですね。その分、覚えてリズムよく言えた時の喜びは大きかったようです。

6月22日にお配りした「ほけんだより あったかるうむ」では、生活の様子をお尋ねしたステップアップアンケートの結果をまとめました。ご家庭で「メディア宣言」や「メディアコントロール」を進めてもらい成果が表れている面がある一方、「ユーチューバーやゲームの人の言葉遣いをマネする」「暇さえあれば、スマホを手にかけている」等、子どもたちの様子や取り巻く状況を不安に思う声もあがっていました。

子ども達には豊かな語彙、言語感覚を身に付けてほしいですね。また、身に付ける過程で、計画的に、あるいは繰り返し粘り強く取り組む力や、覚える力なども獲得してほしいものです。そんな私たちの願いの一端を、子ども達は既に気づき、自覚してくれているのですね。「子ども達の学びの自覚」を知る、嬉しい作文でした。